



諸手当改善と労働条件向上を求める！



これが職場の声だ！

その⑥

J R東日本輸送サービス労働組合中央本部はJ R東日本会社に本部申 18 号【すべての仲間の「働きがい」と「豊かさ」を形にするために、諸手当改善をはじめとした総合労働条件の向上を求める申し入れ】を昨年 2024 年 11 月 20 日に提出しました。諸手当改善・総合労働条件向上を実現させるため、職場から現場から本部交渉団を支えていきましょう！

【申し入れ項目】

33. 賃貸住宅へ居住する社員に対する賃貸住宅援助金について、特定給付地域表の地域以外の場合には「上限 15,000 円まで」を「上限 30,000 円まで」とし、特定給付地域表の地域の場合には「上限 30,000 円まで」を「上限 50,000 円まで」に改めること。

【寄せられた声】

- 賃貸住宅についても所有住宅と同じ理由で、**家賃の半額までの補助**を求める。
- 社宅を廃止し、入居年数に制限があることから、**社員の負担が増加**している。そのため、所有住宅援助金の年数制限を廃止し、援助金を増額するのは会社の責任者である。
- 近年の物価上昇によって**賃貸住宅の家賃も高くなる傾向**がある。居住している社員の負担も増加している。社員寮も年齢制限により 35 歳で出なければいけない等、賃貸住宅に住まざるを得ない環境も生まれている。さらに生活費や光熱費も負担増や賃金の大幅な上昇も見込めないことを鑑みて手当ての増額を求める。(寮の年齢制限撤廃などに繋げる)
- 土地価格上昇で**家を買うこともリスク**でしかない。以前の 50,000 円に戻して社員の生活を楽にしてほしい。

34. 社員受診の人間ドックについて「3年に1回無料」を「2年に1回無料」へ補助内容を改めること。また、健康経営の推進に向け、人間ドックの基本検査項目の充実を図ること。

【寄せられた声】

- 人間ドックは**健康経営を進める会社**なら毎年無料にするべき。また、事前抽選についても可笑的。抽選に落ちたら J R病院以外はドックを受けられないとは如何なものか？ 中央病院でしか受けられないなら毎年無料にすべき。

35. 営業、運輸職場の泊り前勤務における睡眠時間については、6時間以上を確保すること。また、運輸(乗務員)系統に関する睡眠時間設定の考え方については、乗り継ぎ交代においては着発7時間以上とし、出入区がある場合には着発7時間30分以上とすること。

【寄せられた声】

- 睡眠時間の確保は健康推進している企業だったら**休養時間拡充を設けるべき**。24時間勤務だったら最低6時間の睡眠時間がほしい。
- 社員数減少により**超勤も増えている**中、早寝は睡眠時間も超勤で減っているので十分に疲れが取れず悪循環。

38. 感染症予防対策としての社内の取り組み(換気の推奨・手指の消毒・手洗いうがい等)についての確かかつ継続して実施すること。

【寄せられた声】

- 感染対策は引き続き重要である。疾病で勤務変更した社員の休みが減れば肉体的・精神的負担が発生する。

39. 女性社員の配属については、関係箇所に女性設備を完備した上で配属すること。また、女性設備整備箇所における日々の環境整備ができる体制とし、配属・配置すること。

【寄せられた声】

- ○○駅は駅舎が改築により、寝室がビジネスホテルタイプ(ユニットバス・トイレが各部屋に付属)となった。既存の駅においては男性と女性のエリアは分かれ、寝室も指定されていたが、上記のタイプとなり、部屋も男女の区別なく使用している状況である。会社からは「日々の寝室清掃を業者に委託することで部屋を指定していない」と言うが、やはり**男女寝室は分けて使用する**ことで安全、安心して休憩できる環境にしてほしい。

思うところがあればそれを声にして職場の組合員へ!!